



「にやあにやあがほらね いないないばあ」

今、家庭・家族・親子をめぐる事件が毎日のように報じられています。社会の一番小さな単位である家庭が、心安らぐ場所ではなくなりましたので、どうか今回の「ら・ら・ら」では、子育てのスタートラインにいる方たちを応援する意味でも、「コミュニケーション」の芽を育て、子育てに生かしていただければと思います、「このテーマに取り組んでみました。」

生まれただけの赤ちゃんが、お母さんの声に反応するのは、母体の中にいる時から、ちゃんと声を認識しているからだといわれています。喃語あー、うーがでてきた頃から絵本をお勧めします。決して1冊を読み通すことをお勧めするではありません。1ページ、もしくは一言でもかまわないです。「絵本の三言のフレーズに赤ちゃんが反応してくれたらもう一言」と、積み上げていければ良いのです。ゆっくりと楽しみながら、声をかけてあげる時間を大事にして下さい。

なぜ絵本かと思議に思うかもしれませんが、日常生活に日常の私達の生活にない穏やかな言葉や言葉使用など、心に届く言葉が用意された本だからです。4ヶ月くらいの赤ちゃんからとつぞ。特に「いないいないばあ」の本などは、これからの発達にも合う本です。穏やかな色と絵柄の絵本をお勧めします。

読む気持ちで絵本の中の世界を楽しみましょう。一緒に経験なんてこの時期にしかできない貴重な体験かもしれません。ただし、これだけはやめましょう。それは「これはなに」と絵本の自身を確認しながら読むこと。「楽しいね」を子どもに強要することです。お話が楽しめないどころか、まるで勉強のようになってしまうか本自体が嫌いになってしまう。

絵本は優しい声でなければ読めないものです。お父さんとお母さんとは、同じ本なのに面白さが違います。優しい声でたくさん絵本の世界を楽しんで下さい。幸せな時間長さはありません。思い出が、家族の存在の大きさにつながっているのかも知れません。

赤ちゃんからの子育てを楽しむことで、良好な親子の形が作られていくのではないのでしょうか？ どの間にか、子どもが存在している自分にもたらされている多くの知識や出会いなどに気がつく、その存在は今まで以上にいいと思えるものになっていくでしょう。

「何歳まで読めばよいのでしょうか？」と良く聞かれるのですが、「読んで」と本を持つてくる間は読んであげて欲しいです。それは本を読んで欲しいという思いとは別に、優しいお母さんお父さん（の声）が聞きたかったり、なんとなくそばに居て欲しい気がする場合もあるからです。小学校の高学年になつてきているのに、この場合には、さらにその気持ちが強い場合もあります。学校で少し辛いことがあったり、悲しい気持ちで帰ってきた時などは特にそうかもしれません。「私だけに読んでくれる時間」はかけがえない支えの時間ともいえるのです。自分にとって「宝物の絵本」が見つけたら子は、更に学年が上になつて親子での落ち着いた話し合いが出来なくなる時期が来て、その絵本が置いてあるだけで表情がやわらいだり、素直になつたりすることもあります。

絵本なんて...と思つ方には、声に出して読んでみることをお勧めします。1冊をゆっくり読み終えると懐かしい幸福感が広がります。

「コミュニケーション」の芽を大切に育て、お互いの理解を深めることは、これからの家族のあり方の上で大切なことです。子どもは親の自由になる存在ではなく、親とは別の人格を持った一人として、この世に命を受けた家族なので、すから。

子育てはまさしく自分育てなのです。どうぞ楽しんで子育てを...

(おはなしなあに 松山)

会員イベント情報

「ら・ら・ら」では、生涯学習推進協議会に加入する各々の団体の行事を、分かる範囲内で紹介・お知らせ致します。それぞれの事業活動が、本誌によりご理解いただけ、参加交流が持てますことを期待し作成しております。39号では、2月・3月の行事を掲載致します。今後、皆様の団体の行事等が決まりましたら、事務局まで事業の内容・日時・場所等をお知らせ下さいませようお願い申し上げます。

【事務局】江別市教育委員会生涯学習課 TEL 011-381-1062 FAX 011-382-3434 URL <http://www.e-lalala.org/>

【イベント情報】

江別痴呆の人の家族を支える会
・介護家族の集い

介護家族の方には、仲間と日頃の悩みや情報を語り合っていたり、又保健師さん等の専門職の方の助言もいただきます。午前中だけでも大丈夫ですので、どうぞお気軽にお越し下さい。

日時 平成19年3月15日(木)
午前10時～午後3時

会場 江別市コミュニティセンター
2階研修室1号(3条5丁目)

参加費 無料

申込み 当日直接会場へお越し下さい。

問合せ先 江別痴呆の人の家族を支える会
TEL 387 5657
(水・木 午前10時～午後3時)

【支援事業】

子ども文化ネットワーク・江別
・第3回こねつと講座

あなたは文字で子どもたちに何かを伝えたいと考えたことはありませんか。こねつと子ども文化ネットワーク・江別(では、児童文学の創作講座を開催することになりました。講師の升井さんは自ら執筆活動を進めながら、創作に携わりたいと考えている多くの方に、積極的にアドバイスされてきました。書きたい方も、童話に興味のある方も、講座を気楽にのぞいてみて下さい。ぜひ、ご参加をお待ちしています。

日時 平成19年2月24日(土)
午後1時30分～3時30分

会場 野幌公民館研修室5号
(野幌町13 6)

講師 日本児童文学者協会北海道支部 升井純子さん

定員 25名

参加費 500円

申込み問合せ先
子ども文化ネットワーク・江別
高木 TEL 383 4733

北陽美術協会

・春季展

毎年恒例になっている春季展が今年も野幌公民館ギャラリーで開催されます。北陽美術協会の会員がそれぞれの得意分野で力作を展示致します。

日時 平成19年3月27日(火)
～4月1日(日)
午前10時～午後5時
(最終日は午後4時まで)

会場 野幌公民館 ギャラリー
(野幌町13 6)

種別 日本画・油彩画・切り絵

問合せ先 北陽美術協会 事務局
村山 TEL 384 6202

『生涯学習リレー講座』好評のうち終了

昨年の10月6日から毎週金曜日の夜5回シリーズで、本協議会主催の『生涯学習リレー講座』が大麻公民館で開催されました。

定員を大幅に上回る応募があり、好評のうち無事終了することができました。一部の方には受講をお断りさせていただきました、申し訳ございませんでした。

今回は、郷土江別の歴史をまなぶテーマに、各分野の専門の先生方から大変興味深い内容の講義をしていただきました。講義内容としては、江別式土器文化を中心とした先史時代から、古代国家と蝦夷との関係、近世から近代での石狩改革、北海道開拓期と北越殖民主社、昭和時代の川と人々の生活までの江別の歴史について等でした。

今回の講座をきっかけに江別の歴史に興味を持ったという受講者の方も大勢いらっしゃったようで



毎回 多くの市民が参加されました

主催者側としても大変嬉しく思っております。

次回も、より充実した内容の講座を開催したいと思っておりますので、その際は今回同様、大勢の方々の受講をお待ちしております。

編集後記

暖かい、雪の少ないお正月。皆さん元気に新春をお迎えになられましたか。

今回も生涯学習の会員さんの内容を、皆さんに少しでも知って頂きたいと努力しております。ご覧になった皆さんの御感想、又各会様の様子、行事予定など、どしどしお知らせ頂ければ幸いです。

皆さんの声で当紙の向上を祈っています。
(江別痴呆の人の家族を支える会 三井)